

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年3月4日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>DEAR+ COMICS 青葉くんのシークレット・バージョン 令和4年2月15日発行</p>	<p>局部の消しが白帯数本のみであり、形状や質感が分かる。特に後半は、編集の配慮というよりあえて強調している印象である。指定該当やむなし。</p> <p>多少の強制感はあるが、青年誌の範疇内。擬音、体液描写も多少気になる程度。性器の登場回数や見せ方も少し気になるが、特に男性器の消し方が白線数本で修整レベルが青年レベルを超えている。指定該当やむなし。</p> <p>軽快なラブコメで、性交シーンもむやみに多いというわけではないように思うが、男性器の描写がかなりリアルで仔細に描かれている。通常の修整方法ではなく、別の方法に変更するなど工夫の余地あり。指定該当やむなし。</p> <p>最初の性交シーンが半ば強制的。主人公の明るい性格でカムフラージュしているが、無理やりな印象はやや残る。性器の描写は、写実的とは言えないが、かといってデフォルメされているとも言い難い。それと分かる描き方な上に、消しが甘い。指定該当やむなし。</p> <p>人格否定や器具などを使用する描写もなく、ストーリーも純愛的なもので問題はない。しかし、性器の消しが甘く、性行為場面においてとにかく擬音描写が多い。卑わい感を助長すると考える。指定該当。</p> <p>ストーリー的には同性の幼なじみが性行為をするラブコメ。人格否定はない。しかし、性器の修整が甘く、性交場面は多い。成人向け。指定該当。</p> <p>全体的にストーリーがしっかりしていて画力もあり一気に読めてしまう作品。性交シーンはそれほど多くないし、強制的な感じもなく、卑わい感もない。ただ、性器が何本かの線で消されてはいるが、甘いため形状が分かってしまう。総合的に判断して指定該当。</p> <p>卑わい感はない恋愛漫画である。性器の描写も特段に多いわけではない。しかし、詳細な描き込みもなくシンプルな形状であるとはいえ、性器や結合部を一部しか隠していないのは、やや行き過ぎている。この一点のみで指定やむなし。</p> <p>修整はかなり甘い。人格否定要素はなく、絵もライトで卑わい感はない。過激な表現も少ない。保留。</p> <p>絵柄の淡白さとコミカルな描写シーンのため、卑わいな感じはない。人格否定も見あたらない。ただし、性器修整の甘い部分が複数箇所見える。その点の判断によるが、最終的に卑わい感を感じとれず。指定非該当。</p> <p>性的行為の描写が多いが軽いタッチで露骨で卑わいとまでは感じない。人格を否定する性的行為を容易に連想させるとも言い難い。性器の消しも甘いなりに配慮もあり、総合的に判断し指定非該当。</p> <p>性交場面は必ずしも全編大部分ではなく、その描写も、不法行為を描いたり人格否定的であったりすることはなく、卑わいさも感じない。学校や街中での心理描写など、主要登場人物2人の心の通わせ方、少しずつ距離の縮まる様子が表現されている箇所も多く、物語としてしっかりしている。性器の消しが甘く、形状がはっきり見えるものも少なくない。大変悩ましいがギリギリ指定非該当。</p>